

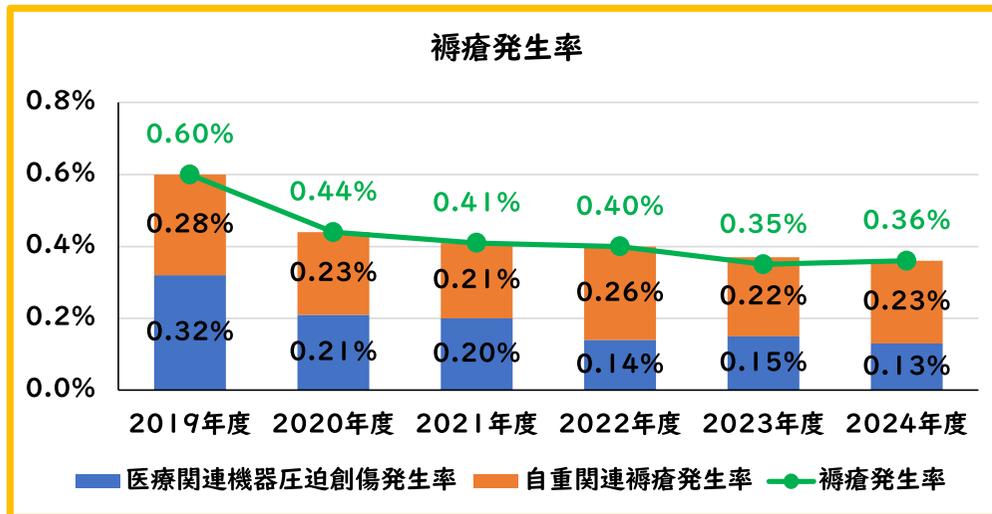
33 褥瘡発生率

褥瘡対策チーム

◆解説◆

褥瘡発生率は、医療の質評価のひとつです。褥瘡は、予防が最も重要です。当院では入院時に全ての患者の褥瘡発生リスク評価を行い、リスクのある患者には褥瘡診療計画書を立案し薬学的管理、栄養管理の視点をふまえて実践しています。また、状態変化時に褥瘡発生リスクを再評価し、褥瘡予防に必要な体圧分散用具の使用検討や保湿などのケアを行います。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士で構成されるチームが、発生した事例から同じような褥瘡をつくらないために、それぞれの専門性を活かし治療や管理方法について検討を行っています。

◆当院の実績◆



◆定義◆

当院において、実入院患者数に対する新規褥瘡発生の割合

◆自己点検評価◆

褥瘡対策チームの連携やWOC、委員会の啓発活動および直接指導により褥瘡予防の観点で皮膚の観察やケアができていることと褥瘡予防具の充足により褥瘡発生率を減少させることができています。医療関連機器圧迫創傷(MDRPU)においては、診療科と協力し類似事例防止を目標に予防対策を検討、MDRPUの発生を減少させることができています。2024年度の褥瘡発生率は0.36%であり、目標(0.34%以下)を達成させることはできませんでしたが、発生率は低い水準で維持できています。

褥瘡予防には、多職種が連携し専門性を活かした対策が必要です。院内で新規発生した重度褥瘡は褥瘡対策チームと診療科で振り返りを行い、再発防止に努めています。褥瘡ケアの質を保つために、褥瘡ケアマニュアルは毎年最新の内容に改定しています。